

TAYLOR WITH RESPECT

コンセプト:「仕立て」

仕立ての良さを身に着ける喜び

私たちが考える「仕立て」の良さとは、手に取る人にこのような気持ちを思い起こさせるものです。品質、機能、美観のいずれをも大切に、ひとつひとつの作業を丁寧に、小さなこだわりを積み重ねてきました。

オールメイドインジャパンへのこだわりは、多くの想いを語り合ってきた、仕立て人との信頼関係の中に生まれています。ブランド名にある「RESPECT」には、そのような、仕立てに携わってくれている全ての人への敬意が込められています。

大切な存在として、いつまでもあなたのそばに寄り添うもの。充実した日々を、TAYLOR WITH RESPECTがお届けする「仕立て」の良さと共に。

ICONIC MODEL

diadema(ディアデマ)

気品を纏う眼鏡

1940年代のフランスで人気を博した“クラウンパント”を現代的に再解釈し、顔馴染みの良い造形へと仕立てました。丸みを帯びた柔らかさと、上部をすばっと切り落としたようなラインが、表情を穏やかに整えつつも凛とした印象をもたらします。レンズサイズをやや大きめに設計することで、ゆったりとした雰囲気。同時に上辺の角が全体を程よく引き締め、洗練さと親しみを兼ね備えた1本に仕上げています。

ブランドを代表する人気モデル

ディアデマは、クラシカルなフォルムと洗練されたカラーが調和した、テイラーウィズリスペクトを象徴する1本です。眼鏡としての機能性にとどまらず、日々の装いにそっと寄り添い、かける人の魅力を引き立てます。職人たちの確かな技術から生まれるこのフレームは、シンプルでありながら奥行きのある存在感を放つのです。

職人が生み出す“カラーリングの表現”

ディアデマの豊富なカラーバリエーションは、福井県鯖江市に拠点を置く

「美装ジャパン」の卓越した染色技術によって生まれます。ファーストコレクションから信頼を寄せるこの工場のグラデーションは、熟練した職人による完全な手仕事でしか表現できません。赤・青・黄の染色剤を熱した樽に、フレームをゆっくり沈めることで色付けをします。その日の気温や湿度、わずかな天候の変化さえも仕上がりに影響するため、職人は長年の経験を頼りに漬ける時間を微妙に調節します。決して同じ条件が揃う日はなく、作業を行うと決めた日は丸一日をこの工程だけに捧げます。

1/10の生産量

グラデーションは大量生産に向かない性質を持っています。煮沸した染色液は常に対流を起こし、樽の中でも場所によって状態が異なるため、色が均一に染まるのは中央付近だけです。一度の工程で染め上げられるのはわずか3本。効率重視の量産体制では到底たどり着けない、極限の集中と緊張の中、1本ずつ丁寧に命を吹き込みます。職人はこう語ります。「通常の眼鏡が1日に100本つくれるとしたら、グラデーションの眼鏡は10本つくれるかどうか。」この言葉が示す真意は、単なる難易度の高さではなく、色のプロフェッショナルとしてのプライドです。

diadema ディアデマ 49□20-144 Titanium / β Titanium

フランスで人気があったクラウンパントのデザイン。レンズ負担を抑える特殊な金属プレス加工は、目にみえない部分にも手を抜かないブランド哲学の表れ。ディアデマとは、王冠の元になった鉢巻(はちまき)を意味しています。



col.01 Black & Gold



col.02 Black & Silver Gradation



col.03 Navy & Gold Gradation



col.05 Bordeaux & Gold Gradation



col.06 Damaged Grey Mat



col.07 Damaged Black